

東北地方 1か月予報

(11月24日から12月23日までの天候見通し)

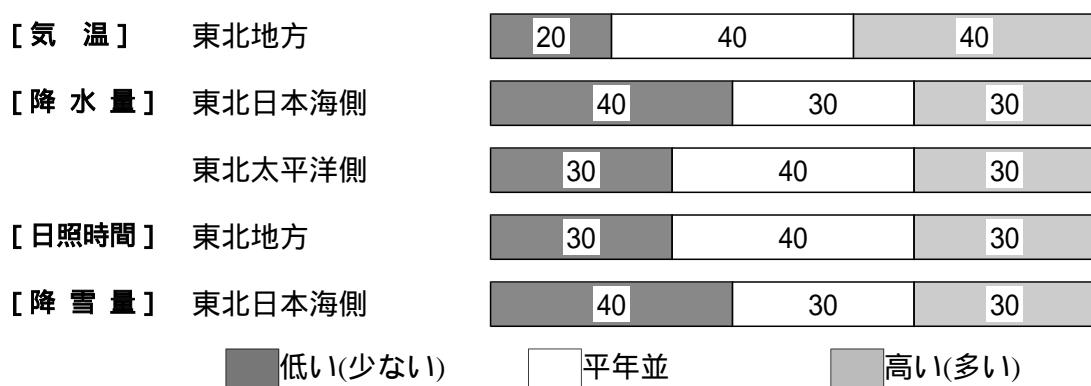
平成19年11月23日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

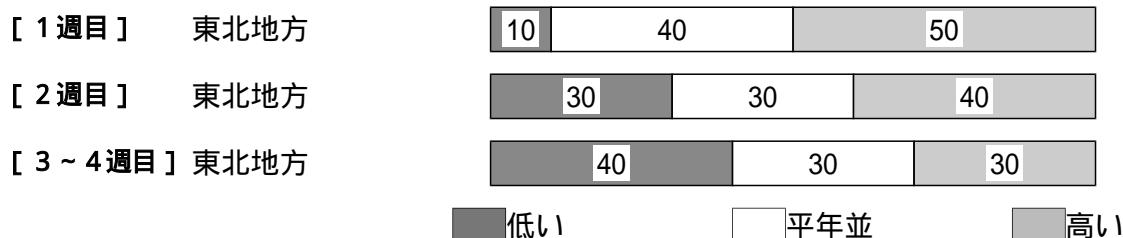
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は、平年並または高い確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

- 1か月 : 11月24日(土) ~ 12月23日(日)
1週目 : 11月24日(土) ~ 11月30日(金)
2週目 : 12月 1日(土) ~ 12月 7日(金)
3~4週目 : 12月 8日(土) ~ 12月21日(金)

<次回発表予定等>

- 1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は11月30日
3か月予報: 12月25日(火) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	2.3	143.6	57.5	133	4.2	3.0	1.3
深浦	3.4	135.7	37.5	59	5.2	4.1	2.5
むつ	2.2	98.7	75.1	83	4.1	2.9	1.2
八戸	2.6	42.5	124.9	36	4.5	3.3	1.6
秋田	3.7	170.3	49.7	62	5.5	4.4	2.8
盛岡	1.8	71.0	100.8	54	3.5	2.4	0.8
大船渡	4.4	50.5	133.4	0	6.1	5.1	3.5
宮古	4.0	50.1	145.2	10	5.7	4.7	3.0
仙台	5.3	30.0	138.4	4	7.0	5.9	4.3
石巻	4.3	30.0	147.8	0	6.1	5.0	3.4
山形	3.3	79.1	82.7	70	5.0	4.0	2.4
新庄	2.4	207.1	38.1	131	4.2	3.1	1.4
酒田	5.2	214.3	46.1	49	6.9	5.9	4.3
福島	5.1	35.9	125.5	22	6.8	5.7	4.2
若松	2.9	81.5	71.7	71	4.7	3.5	2.0
白河	3.7	34.6	151.7	9	5.4	4.3	2.8
小名浜	7.0	47.1	175.1	0	8.6	7.5	6.1

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	81～99	98～104	67～110
東北日本海側	-0.4～+0.5	92～107	92～108	76～116
東北太平洋側	-0.3～+0.5	67～102	97～105	58～104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.7～+0.6	-0.7～+0.7	-0.5～+0.6
東北日本海側	-0.7～+0.6	-0.7～+0.7	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.7～+0.6	-0.6～+0.7	-0.4～+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年11月23日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(11月24日～12月23日)：

東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。期間の前半は寒気の南下が弱く、気温の高い日が多いでしょう。期間の後半は一時強い寒気が南下し、気温が低く、東北日本海側では降雪量が多くなる時期もある見込みです。

平均気温は平年並または高い確率とともに40%です。

1週目(11月24日～11月30日)：

気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多いですが、期間のはじめと中頃は高気圧におおわれて晴れる日があるでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

2週目(12月1日～12月7日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目(12月8日～12月21日)：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。一時強い寒気が南下し、冬型の気圧配置が強まる見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

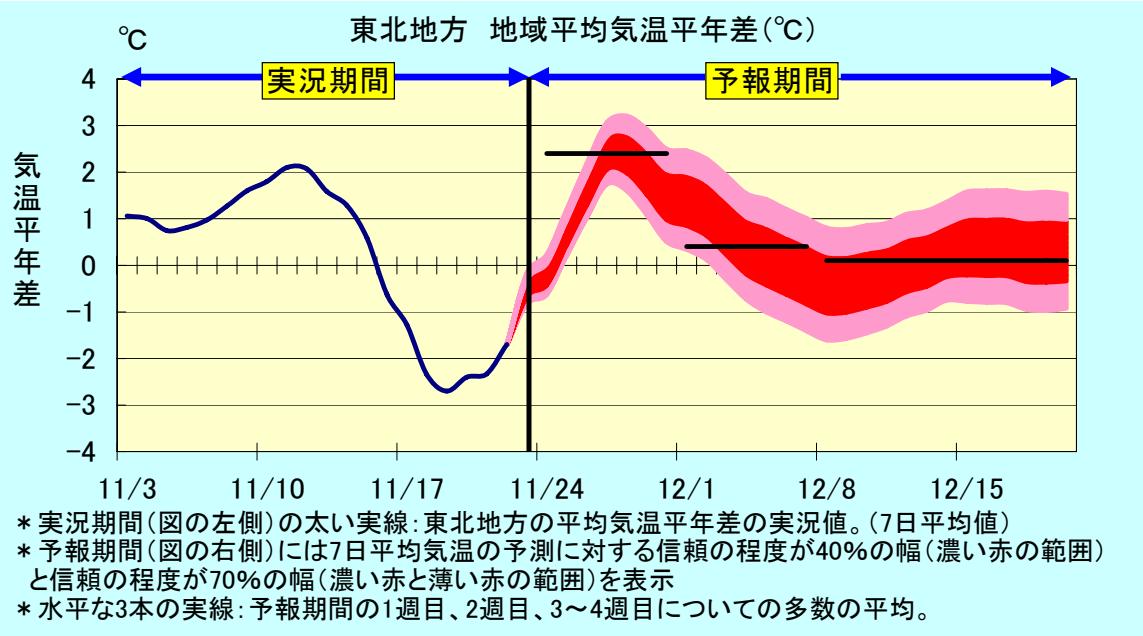
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	4.9日	1.5日	1.3日	2.1日
東北太平洋側	16.6日	4.0日	4.2日	8.4日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を大きく上回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。

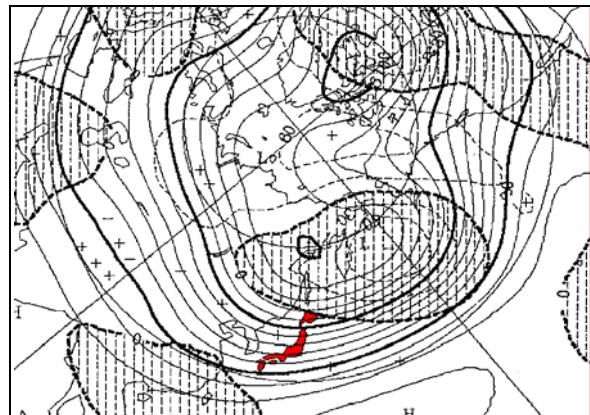


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近は正偏差で、平均すると寒気の南下は弱いが、北極付近は強い正偏差で北極振動は寒気放出のステージ。期間の前半は寒気が南下しにくく、後半は寒気が南下しやすい場に変わってくる見込み。

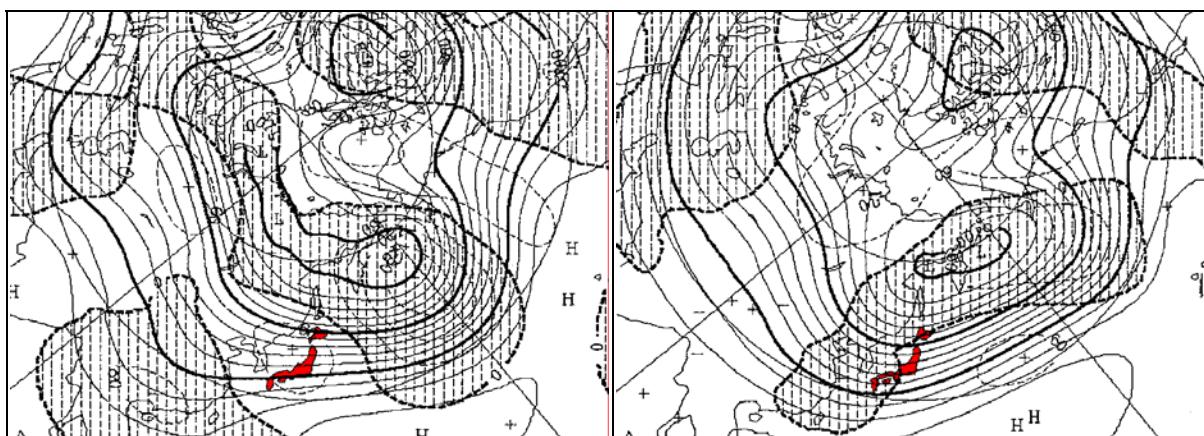
1週目：中緯度帯は等高度線が蛇行し、カスピ海付近からインド、華南をとおり日本付近にかけて波列が形成されている。日本付近は強い正偏差で寒気が南下しにくく、暖かい日が多い見込み。

2週目：1週目に見られた波列は弱まる。日本の東の高度が高いので寒気は南下しにくく。また日本の西が気圧の谷となっており、日本付近は低気圧や前線の影響を受けやすく、東北太平洋側では平年に比べて晴れの日が少ない見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

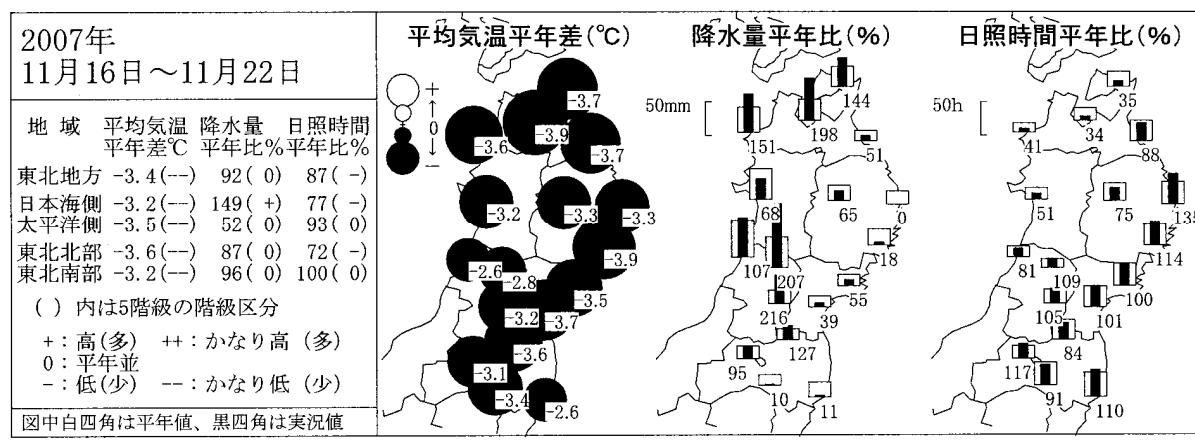
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (11月16日～11月22日) の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置となる日が多くなった。東北日本海側や東北太平洋側の山沿いでは雪や雨の日が多く、11月としては記録的な大雪となったところもあった。東北太平洋側の沿岸部では晴れの日が多くなったが、雪の降る日もあった。強い寒気が南下したため、気温はかなり低かった。

平均気温は東北地方でかなり低い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）